

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	演劇史4	
科目基礎情報							
開設学科	演劇スタッフ科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時限数	15時限
単位数	1単位					授業形態	講義
教科書/教材	毎回資料を配布する。副読として『桜の園・三人姉妹』（新潮文庫）を使用する。						
担当教員情報							
担当教員	宮下 明日香			実務経験の有無・職種	有・演劇制作		
学習目的							
1年次で学んだ東西の演劇史を踏まえ、近代古典から現代へと変革していく演劇の流れを理解していく。1年次と同様アカデミックに演劇を理解することによりプラクティカルに活用できることを目的とする。							
到達目標							
西洋演劇では17世紀のフランス古典劇から近代古典、現代へと時代を追いながら、戯曲の構成や思想を考察していく。チェーホフやブレヒト、ベケットなどを扱っていく。日本の演劇では大正時代の新劇以外の芸能から新劇以降のアングラ、小劇場ブームの流れを習得していく。またミュージカルの歴史もブロードウェイとウエストエンドを比較しながら解釈していく。							
教育方法等							
授業概要	各時代の東と西の演劇を学ぶ中で、授業で扱う作品のDVD鑑賞を取り入れていく。学術的に学びながら、実践的に活用できるよう言及していく。						
注意点	この授業は、各作品を読みながら授業を展開していくため、授業で扱う作品を事前に読んでおくことが望ましい。私語、居眠りを禁止とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験	50%	基本的な授業を理解しているかによって評価する。				
	課題	25%	定期的に提出するレポートの内容によって評価する。				
	授業態度	25%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	イントロダクション			日本演劇の復習			
2回	大正時代の日本演劇			新劇以外の日本芸能			
3回	アングラ演劇			アングラが存在と代表的な活動の分析			
4回	小劇場（1）			1970年代の学生劇団の分析			
5回	小劇場（2）			1980～90年代小劇場ブームの分析			
6回	21世紀の日本の演劇			平成の演劇の特徴とその作品の分析			
7回	2.5次元			新たな演劇スタイルの分析			
8回	ミュージカル（1）			ブロードウェイミュージカルの考察			
9回	ミュージカル（2）			ブロードウェイミュージカル考察			
10回	ミュージカル（3）			ウエストエンドミュージカルの考察			
11回	ミュージカル（4）			ディズニー作品ミュージカルの考察			
12回	ミュージカル（5）			21世紀大ヒットミュージカルの考察			
13回	ミュージカル（6）			フランスミュージカルの考察			
14回	ミュージカル（7）			オーストリアミュージカルの考察			
15回	まとめ			総括と学習到達度の確認			